

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	鬼無里フットパスによるまちづくり事業
事業主体 (連絡先)	鬼無里観光振興会 長野市鬼無里日影 2750-1
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,988,629円 (うち支援金: 1,532,000円)

事業内容

身近な地域資源を活用した新たな観光ツールとして、鬼無里フットパスを導入。住民参加のワークショップでの検討を経て、鬼女紅葉伝説ゆかりの地をめぐる「谷の都コース」を開設。

- 鬼無里フットパスフォーラム (参加33人)
6/4開催、講演会「フットパスによるまちづくり」
- コースづくりワークショップ (参加延べ114人)
6~10月に計5回開催、9/2モニターウォーク実施
- フットパスウォーキングイベント (参加18人)
10/21開催、住民のおもてなし(漬け物、煮豆など)
- 研修会 (参加20人)
- 案内マップ作成、案内板・標柱の設置



【活動の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①ワークショップ参加者から、コースづくりで地域や住民を知り、地域への愛着が深まったという意見が寄せられた。住民もフットパスを理解し、イベント時のおもてなし企画や、除草など集落の維持管理作業などまちづくり実践者が増加した(約150人)。
- ②フォーラム、ワークショップ、イベント、おもてなし企画、維持管理作業などへの参加者や観光客など、関係人口が増加した(延べ約230人)。
- ③集落の除草・清掃など環境美化、休耕地での作物栽培再開など里山景観保全が進んだ(総延長L=4.85km)。

- ①まちづくり実践者の増加
- ②交流人口の増加
- ③里山景観の保全

【目標・ねらい】

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

身近な地域資源を活用し鬼無里地区の課題解決につながる取組みとして、フットパス事業を活用していく方針。今回整備した「谷の都コース」のPRに努め、フットパスをきっかけに多くの人に鬼無里を知ってもらおう。また、H30年度は白髭神社周辺で2つ目のコースづくりに取り組む。将来的には地区内にいくつものフットパスコースをつくり、地域づくりにつなげていきたい。

※自己評価【 A 】

【理由】
住民は自らの地域を見直し、良さを再認識する機会であり、地区外からは里山の人や自然を体感できる、双方に効果的な事業となった。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある